

つなぐ

Vol.68

2024.2月

足は「第2の心臓」と言われている。足や足裏には全身の筋肉の2/3が集まっており、その中でもふくらはぎの筋肉がポンプとなって血液を押し上げ、歩くことで血液を心臓に戻す大切な役割を担っているためだ。しかし残念ながら年齢を重ねるにつれ、足に問題を抱える人は増加する。「下肢閉塞性動脈硬化症」は初期段階こそ無症状だが、症状が進むと冷感やしびれ、歩行時の痛みといった症状が発現する。

当院では、バルーンカテーテルで閉塞した箇所を膨らませて拡張し、バルーンに塗布された薬剤「パクリタキセル」を血管の壁に塗りつけて再狭窄を予防する治療、薬剤塗布型バルーン（以下DCB）が行われている。DCBでは再狭窄率がステント使用時の30%から10%まで減少し、今では下肢浅大腿動脈疾患の約90%はDCBで治療を行っている。2022年9月、前拡張を容易にする目的で使用するアテレクトミーデバイスが保険償還された。新たに浅大腿動脈及び近位膝窩動脈において、重度石灰化病変を有し、DCB治療の前拡張に使用する経皮的血管形成術用バルーンカテーテルが通らないまたは拡がりにくい病変（ステント内を除く）に対し、固いアテローム塊や狭窄病変を切削するデバイスだ。

このデバイスの登場で、治療を断念せざるを得なかった病変も新たな治療にかなげることが可能となった。しかしこのデバイスを使用できる施設はまだ全国でも多くはない。選択肢が増えることで末梢動脈疾患に悩んでいる患者さんが一人でも笑顔になれるよう医師たちも歩き続けていく。



第76回

小倉循環器内科セミナー

2024年 2月29日(木) 18:00～18:30開催



今無いものを世の中に
～最近の循環器内科での研究内容とその臨床応用について～

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師 京都大学大学院医学研究科 循環器内科学 教授 尾野 亘 先生

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民
公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会
→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

